

令和4年度習志野市行政評価 施策評価(令和3年度事業執行分)の概要

本市の行政評価は、長期計画の進捗管理を目的に、基本計画における施策体系である「章」「節」「項」「号」の「項」、いわゆる「施策」ごとに、毎年評価を行っております。

評価の手法につきましては、各施策に設定した成果指標の達成状況及び各項を構成する事務事業の進捗状況を把握し、事業実施年度の取組を各所管部課で評価するものです。

令和4年度の行政評価は、別紙「令和4年度習志野市行政評価 施策評価表(令和3年度事業執行分)」により実施しました。令和4年9月26日(月)に開催した習志野市長期計画審議会においては、その内容を報告し、委員の方々から御意見をいただいております。この度の評価の概要は次のとおりです。

1. 令和3年度における後期基本計画の達成状況

習志野市後期基本計画では、施策体系の「章」「節」「項」「号」のうち、施策を表す「項」ごとに評価を行っております。評価は、30の施策に対して設定した59の成果指標の達成状況を確認し、各所管部課で評価しております。

令和3年度の各成果指標の達成状況は、下表のとおりです。

◎(目標値を達成)	17指標	28.8%
○(目標未達成であるが進捗)	16指標	27.1%
◇(外的要因 ^{※1} により基準値未満)	15指標	25.4%
×(未着手等により基準値未満)	10指標	17.0%
—(実績値なし ^{※2})	1指標	1.7%

※1 予期せぬ外的要因である新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施策に取り組んだにも関わらず、基準値を下回ったもの。

※2 指標の測定時期が決められた他の年度である等の理由により、当該年度の指標が確認できないもの。

目標値を達成している17指標のうち、16指標については年度の状況によって変化するため、今後も経年で実績を見ていく必要があります。

2. 目標値を達成(完了)している施策

(1)「2-1-1 防災・危機管理の推進」

【成果指標「防災行政無線屋外拡声子局のデジタル化局数」(総務部危機管理課)】

基準値	目標値	実績値(令和3年度)
25局	49局	49局

本施策では、災害時における情報発信体制の整備の推進等を図っており、目標値を達成しています。

これは、整備に係る市の資金調達について、国の地方債である「緊急防災・減災事業債」の適用が令和2年度までとなっていたため、予定を前倒して実施したことにより、早期に目標の達成がされたものです。

3. 目標値に達しなかった施策

(1) 「2・2・1 防災・危機管理の推進」

【成果指標「自主防災組織の組織率」(総務部危機管理課)】

基準値	目標値	実績値(令和3年度)
61.0%	65.0%	60.7%

本施策では、防災・危機管理意識の啓発、地域防災力の向上等を図っています。

これは、自主防災組織の数や加入世帯数が減少したのではなく、転入超過等の理由により、組織率の母数となる「世帯数」が増加したことから、基準値を下回った理由であると推察しています。

(2) 「2・1・3 防犯・交通安全の推進」

【成果指標「自転車通行区間の整備延長」(都市環境部街路整備課)】

基準値	目標値	実績値(令和3年度)
0 km	15 km	0 km

本施策では、市民の防犯及び交通安全に対する意識向上のほか、自転車通行ネットワークの形成等を図っています。

ハミングロード内の自転車走行との整合を図る必要が生じたことや、JR津田沼駅南口駅前広場内ロータリーにおいて、関係機関との協議の結果、整備する必要性がなくなったことなどから、状況に即した整備路線の見直しやコスト縮減など整備計画の見直しが必要となったため、事業化に至っていないことが目標値未達成の要因です。

(3) 「2・2・2 住宅施策の充実」

【成果指標「市営住宅の入居率」(都市環境部住宅課)】

基準値	目標値	実績値(令和3年度)
94.6%	100%	91.3%

本施策では、市営住宅の計画的な活用、維持管理等を図っています。

入居者に高齢者が多く、死亡や施設入所によるものが増加したこと、また、退去後のリフォーム工事費用が高額となる戸数が増加しており、未改修の空き室が一定程度あることなどが、目標値未達成の要因と分析しています。

(4) 「2・3・2 自然環境の保全・活用」

【成果指標「自然保護地区等の指定面積」(都市環境部公園緑地課)】

基準値	目標値	実績値(令和3年度)
1.03ha(自然保護地区)	1.03ha(自然保護地区)	1.03ha(自然保護地区)
5.43ha(都市環境保全地区)	5.43ha(都市環境保全地区)	5.40ha(都市環境保全地区)

本施策では、自然・都市環境の保護・保全に対する理解・協力などの働きかけを行い、貴重な自然環境の保護・保全等を図っています。

令和2年度に、民間が所有する環境保全地区について、所有者から指定解除の申し出があり、これを受理したことにより実績値が基準値を下回りました。令和3年度は面積を維持しています。

(5)「3・4・1 誰もがその人らしく活躍できる社会の実現」

本施策では、ワーク・ライフ・バランスの認識を深めるための取り組みを推進し、人権侵害のない環境づくり等を図っています。

【成果指標「男女の地位が平等になっているか」(協働経済部男女共同参画センター)】

基準値	目標値	実績値(令和3年度)
12.5% (平等と思っている人の割合)	12.5%より上昇	3.0% (平等と思っている人の割合)

男女共同参画に関する意識付けのため啓発活動は行っているものの、十分に浸透していない状況であると推察され、引き続き、継続的な啓発を行う必要があると認識しています。

【成果指標「市の審議会等委員における男女比率」(協働経済部男女共同参画センター)】

基準値	目標値	実績値(令和3年度)
29.8%(女性比率)	どちらかの性が 40%以上60%以下	29.3%(女性比率)

各課所管の審議会等の任期満了時に女性委員の登用について検討するよう、庁内に依頼しているところですが、構成員があて職となっており、その職に就く女性が少ない状況であることが、目標値未達成の要因と分析しています。

(6)「3・4・3 平和啓発の促進」

【成果指標「平和の大切さがより理解できた人の比率」(協働経済部協働政策課)】

基準値	目標値	実績値(令和3年度)
99.6%	99%	98.4%

指標である被爆体験講和受講者に対するアンケート結果で「よくわからなかった」と回答した人の理由は、「内容が難しい」、「よく聞こえなかった」等でありました。

「内容が難しい」といった意見については、原爆や戦争を理解するのは容易ではなく、難しいと感じてもらうこともこの講話を実施する意義の一つであると考え、引き続き、風化しつつある戦争という「過去」の記憶を次世代に伝えていくべく、事業に取り組んでいきます。

聞き取りにくい状況については、学校と事前によく調整し、会場に合わせた音響設備等を整えていきます。

4. 令和3年度における後期第1次実施計画の進捗状況

令和2年度から令和4年度までの3年間の計画期間とする後期第1次実施計画において取り組んだ事業数は、267事業となっています。

令和3年度の各事業の進捗状況は、下表のとおりです。

A（実施予定事項が完了）	166事業	62.2%
B（実施予定事項を実施過程）	94事業	35.2%
C（実施予定事項が着手段階、変化発生段階）	1事業	0.4%
D（実施予定事項が検討段階）	2事業	0.7%
E（未着手または廃止事業）	4事業	1.5%

5. 総括

施策の成果指標については、目標を達成したものが59指標中17指標となっています。なお、目標値を達成しないものの進捗している指標を含めると33指標となることから、一定の進捗が見られたものと認識しています。

また、実施事業についても、約6割の事業が「実施予定事項が完了」となっており、実施過程にある事業も3割を超えていることから、十分な進捗が図られているものと考えます。

今後も、引き続き計画の進行管理を徹底し、行政評価を通じて事業内容の見直しや、次の後期第2次実施計画における事業計上に反映してまいります。

6. 長期計画審議会委員からの主な意見等

令和4年9月26日に開催した習志野市長期計画審議会において、各委員からは下記の意見をいただきました。

- ・成果指標とそれに対する評価のみをもって、施策が充実していると判断するのはどうかと疑問に思う指標がある。後期第2次実施計画の策定にあたっては、社会の変化や住民ニーズに柔軟に適応した事業を検討し、策定してもらいたい。
- ・当初設定した成果指標が陳腐化、形骸化しているものもあるように感じる。期中でも指標の見直しや新たな指標の追加について、検討してはどうか。さらに、次期計画策定にあたっては、柔軟性を持たせることを提言する。
- ・各指標の実績値達成には、各施策を連動して捉え、部署間連携もとっていく必要があると考えられる。その上で、各担当課の評価に加えて、市として総合的な評価もするべきではないかと思う。